



# 目 次

## 総論 1 過去 1 万 3000 年間の気候の変化と人間の歴史 —— (阪口 豊) 1

- 人間の歴史にインパクトを与えた気候の節目 1
- オリエントにおける 1 万 2000 年前の乾燥化のインパクト 3
- オリエントにおける 1 万年前の湿潤化のインパクト 4
- 紀元前 2600~2700 年の寒暖変化のインパクト 5
- JW<sub>3</sub> 最温暖期の温暖化のインパクト 6
- 紀元前 1056 年の寒冷化のインパクト 7
- 古墳寒冷期のインパクト 8
- 西暦 700 年の気候の転換 9

## 総論 2 東アジアの歴史時代の気候と人間活動 —— (吉野正敏) 13

- 後氷期から歴史時代へ 13
- 古モンスーンの復元と乾湿分布 13
- 歴史時代のイベント 16
- 中国における 2000 年の人口変遷と気候 17
- 南北の人口の変遷 19
- 気候と歴史 23

### I. 歴史時代の気候復元

#### 1. 水月湖の細粒堆積物で検出された過去 2000 年間の気候変動

————— (福澤仁之・安田喜憲) 28

- はじめに 28
- 過去 2000 年間の水月湖細粒堆積物 30
- 日本海深海堆積物に認められる風成塵変動とその応用 31
- 風成塵変動から読み取れる中国大陸の過去 2000 年間の乾湿変動 35

水月湖における過去 2000 年間の海水準変動と地震による変形	38
水月湖における過去 2000 年間の降水量変動	40
過去 2000 年間の日本海周辺の気候システム変動	41
おわりに	43
<b>2. 屋久杉に刻まれた歴史時代の気候変動</b> ————— (北川 浩之)	47
はじめに	47
屋久杉年輪の安定炭素同位体比に及ぼす環境要因	48
屋久杉の安定炭素同位体分析からみた歴史時代の気候変動	51
歴史時代の気候と社会	51
歴史時代の気候変動と太陽活動のリズム	52
ま と め	54
<b>3. 中国前 20 世紀から紀元前後までの気候</b> ————— (菅谷 文則)	56
殷王朝の気候予報	56
石器時代の気候変遷	57
夏相当時期の気候	59
遷都と気候	61
衣服と気候	65
<b>コラム：古記録からみた韓国の気候変動</b> ————— (魚 塘)	69
歴史的文献から気候学への転化	69
旱魃と洪水が背中合わせ	70
祈雨祭と飢饉	72

## II. 古墳寒冷期の気候と歴史

<b>4. フン族あらわる</b> ————— (林 俊雄)	78
匈奴＝フン同族論	78
フン族あらわる	79
遊牧民と鍬	83

- フン型鍔の分布と起源 85  
 フンは東から西へ支配地域を拡大した 91

5. 後漢帝国の崩壊と倭国大乱 ————— (置田雅昭) 93

- はじめに 93  
 後漢帝国崩壊の要因 93  
 漢と倭の通交 94  
 弥生時代と乱 96  
 2~3世紀の気候 99  
 気候と乱 100

III. 中世温暖期の気候と歴史

6. ヴァイキングの時代 ————— (吉野正敏) 104

- まえがき 104  
 ヴァイキングの活躍 104  
 ヴァイキングのグリーンランド定住 106  
 8~10世紀の東アジア, 東北アジア, 東南アジア 108

7. アンコール文明の発展——植物文明世界 ————— (石澤良昭) 112

- 憶測と史実のはざまで揺れ動くアンコール王朝の年代 112  
 アンコール文明発展に向けて——インド化とは何か 114  
 12世紀のファッションショーをみる——女神の衣裳に注目 115  
 すべての道はアンコールへ——アンコール・トム都城と  
 ジャヤヴァルマン7世 116  
 王は木造建築に住んでいた?——約60万人の大都市 117  
 アンコール朝はなぜ衰退し, 密林に埋もれていったか 119  
 アンコール王朝の王位争奪戦——王の宿命と寺院建立 120

8. マヤ文明の発展をもたらしたものの ————— (高山智博) 123

- オルメカ文化の影響 123

マヤ高地の重要性 124

マヤ低地における全盛期 126

マヤ文明の崩壊 130

**9. チベット文明の拡大と気候変動** ————— (岩田修二) 134

チベットの気候変化と“吐蕃”の拡大 134

古環境の指示者としての埋没土壌 135

東南チベット，ポテチュー谷の埋没土壌 137

チベット文明の拡大と森林破壊 141

**10. 渤海の盛衰と気候変動** ————— (吉野正敏) 143

まえがき 143

渤海国の興亡と日本との交渉 143

渤海と日本との往来の季節性 145

渤海の盛衰の背景 150

ヴァイキングの時代との対応 152

気圧配置と気候の推定 153

**11. オホーツク文化の展開とアイヌ文化** ————— (菊池俊彦) 156

はじめに 156

アイヌ文化の母体をめぐる論争 157

アイヌ文化とオホーツク文化の関係 160

オホーツク文化の展開 163

アイヌ文化と北方諸地域の文化との関係 166

おわりに 168

**コラム：古代宮都・長岡京の廃絶と自然条件の推移** ——— (中塚 良) 171

はじめに 171

考古学年代からみた遺跡形成-埋没プロセス 172

考古学調査からみた長岡京期前後の地形条件の推移 174

自然災害史料からみた長岡京期前後の地形条件 177

遺跡と自然条件の推移 180

#### IV. 小氷期の気候と歴史

### 12. 小氷期の気候 ————— (吉村 稔) 184

日本における小氷期の気候 188

自然季節の変動 188

冬の特色 189

サクラ温度計 191

梅雨から盛夏 192

おわりに 198

### 13. 小氷期のワインづくり ————— (田上善夫) 200

気候とワイン 200

ブドウ園の後退とコニャック 203

シャンパンの誕生 206

フランスのプティヴァン 208

ドイツのシュペートレーゼ 210

小氷期がワインにもたらしたもの 211

### 14. 平野の微地形変化と開発 ————— (高橋 学) 214

視 点 214

縄文海進最盛期の海水準と海岸線 215

縄文海進最盛期以降における平野の微地形変化 216

微地形変化からみた瀬戸内海沿岸平野の特徴 220

微地形の変化と土地開発 221

土地の履歴と阪神大震災 228

まとめと展望 230

### 15. 小氷期のイギリスと日本 ————— (安田喜憲) 232

イギリスの小氷期 232

小氷期の日本	238
気候変動に脆弱な現代社会	243

## V. 気候と現代文明

16. 現代文明崩壊のシナリオ	————— (安田喜憲)	246
ギリシャ文明とのアナロジー		246
気候寒冷化と植民地化が発展の契機		247
巨大戦争		250
人口爆発と環境破壊		251
疫病の流行		251
局地戦争の多発		253
破局を加速化した気候変動		254
環境難民の大移動		257
17. アジア・モンスーンの思想	——地球環境問題の解明に向けて	
————— (安成哲三)		261
豊かな水と自然		261
循環の思想		262
“近代化”の思想と循環の思想		263
“地球温暖化”問題をどうみるか		264
循環の思想のグローバル化		265
モンスーン・アジアからの発想		265
あとがき	—————	267
索引	—————	271

中扉写真：石田紀郎(I)，林俊雄(II)，中村齋(III)，  
田上善夫(IV)，引前市立図書館(V)

